

毎週日曜発行
2022 9/4

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

29

きょうのテーマ

美術館や博物館で、貴重な絵画や史料などを研究し、「展示を通してみんなに紹介する学芸員は、どんな子どもだったのかな。宮城県美術館で開催中の特別展「ポンペイ」を担当している柴野倫子さん(24)に聞いたよ。

◇ 絵を描くことや手芸、読書が大好きでした。完全にインドア派。空想の世界にいるのが楽しかったですね。

幼稚園のときに、劇「浦島太郎」のカメラ役になっ

みんな思い出

空想の世界が楽しかった

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

てからしばらくは、色鉛筆で竜宮城やカメラが泳ぐ姿を描いていたと、両親から聞きました。リボンや毛糸でコースターなど小物を作り、家族相手にお店屋さんを開いた

り、小説「ハリーポッター」シリーズの分厚い本をランドセルに入れて登校し、休み時間に読んでりしていました。小学生から絵画教室に通い始め、たくさん置い

自分で描いたり作ったりするより、作品を見た。絵画教室の先生に学芸員という仕事があることを教えてもらい、興味を持ちました。小学生のときに訪れた、アメリカのニューヨーク近代美術館やメトロポリタン美術館の印象も強かったです。「美術館は広く

自分が面白いと思ったことを多くの人に伝えることができます。学芸員の醍醐味です。

やりたいと思ったことは、口に出してみても、周囲の人に言い続けると、新たな出会いにつながったりします。



柴野 倫子さん(24歳・学芸員)

しばの・みちこ 1997年、神戸(こうべ)市生まれ。京都大学文学研究科を修了(しゅうりょう)後、2022年4月から現職(げんしきよく)。専門(せんもん)は西洋美術史。

であった画集の模写を通して、絵の見方を知りました。作品の時代背景や作者の人生などを知ると、作者の気持ちを理解できる。面白いと感じました。



て人がたくさん来て、カッコいい」と思いました。大学院生時代、京都国立近代美術館で学芸員のインターンを経験しました。作品紹介の文章を書いたり、映像作家の展示を作り上げたりするのが楽しく、自分に向いていると自信を得ました。

今、担当している特別展「ポンペイ」では、約2000年前、火山の噴火による堆積物で埋もれてしまったイタリア南部の古代都市、ポンペイの人々の生活を丸ごと体験できます。先月、初めての市民講座で、「最上の剣闘士は美形」という言葉が残っていることや古代の最高級パンの作り方を話しました。

思う存分、作品を見て、自分が面白いと思ったことを多くの人に伝えることができます。学芸員の醍醐味です。

今週の注目ニュース

◇5日(月) 国民栄誉賞の日
1977年、世界最多本塁打記録の通算756号を達成したプロ野球巨人の王貞治選手に、初の国民栄誉賞が贈られました。オリンピック連覇を果たしたフィギュアスケート男子の羽生結弦選手も2018年に受賞したよ。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 世界が熱狂! W杯サッカー